

今年もここで会えるね



地域コーディネーター
松本美乃里

エコツーリズム日記

川根本町の魅力をPRする
エコツーリズムネットワーク活動報告

問い合わせ まちづくり観光協会内 松本美乃里 ☎ (59) 2746

川根本町もだいぶ涼しくなり、山々も少しずつ色づき始める時期となりました。本町の紅葉は本当に素晴らしいと聞いています。私も今年の紅葉を見るのがとても楽しみです。

この秋は、そんな紅葉が楽しめるイベントを企画しました。10月23日には紅葉トレッキングを実施し、11月5日には大丸山紅葉トレッキングを実施する予定です。

さて、9月25日に不動の滝周辺で実施した「滝で森林浴とヨガ」は、5月にも計画したイベントです。前回は、残念なことに参加者が少なかったため実施することができませんでしたが、今回は無事に参加者が集まり、にぎやかに実施することができました。

ヨガ体験に癒され、お屋のマクロビランチも大好評！参加者の皆さんには大変満足していただき、改めてこのイ

ベントは、次回につなげていける素敵な企画なんだと思いました。

また、10月15日に実施した「稻作体験」は全4回シリーズの最終回。地名地区の田んぼを借りて、4月から田おこし、田植え、草取り＆かかし作りを実施してきて、今回は最後の稻刈り作業を実施しました。

まさに実りの秋です！刈り取った稻を干して脱穀し、おいしいお米を収穫することができました。自分たちで丹精込めて作るお米は格別だと、参加者のうれしそうな表情がとても印象的でした。

現在、このようなイベントのPRや活動報告、本町に関するさまざまな情報を私のブログの中で紹介しています。皆さんぜひ、【川根本町エコツーリズム日記】で検索して、ご覧いただければ幸いです。



松本美乃里
エコツーリズム推進事業の地域コーディネーター。本年度、エコツーリズム推進事業の一員として、まちづくり観光協会を拠点に活動中。富士市出身。

消防団秋季演習で技術と意識を高め

午前9時から始まった式典では、中川根第一小学校グラウンドで開かれ、団員279人が集結しました。団員相互の防災意識を高め、技術力の向上を目指して開かれる演習です。

午前9時から始まった式典では、高田智祥団長が「災害による出動も多い中、練習不足の部分もあると思うが、日頃培つてきた技術を生かし、全力で挑んでほしい」と訓示しました。

訓練披露では、自動車ポンプ4隊、小型ポンプ4隊、小隊訓練2隊が出場。的確な動作で操法を繰り広げた団員たちに、見守る来賓や他の団員から大きな拍手が送られました。

佐藤公敏町長は、「ぎびきびとした操法を大変心強く感じました。大規模災害が頻発する中、消防団への期待感も高まっています。これからも地域防災の要として、住民の安心のため取り組んでください」と講評を述べました。

来賓として出席した金谷消防



ぎびきびした操法に大きな拍手が送られました。

総務課 ☎ (56) 2220

川根本町産業文化祭

11月6日日

午前9時30分～午後2時30分

※雨天決行

役場本庁舎前駐車場、健康増進施設ほか

【問】川根本町産業文化祭実行委員会事務局
(川根本町総務課) ☎ (56) 2220

奥大井ふるさと祭り

11月12日土

午前10時～午後3時

※雨天時は13日日順延

千頭駅横 奥大井音戯の郷 特設会場

【問】奥大井ふるさと祭り実行委員会事務局
(川根本町商工観光課) ☎ (58) 7077

本町福祉課・地域包括支援センターでは、外出が困難な高齢者や障がいのある人の話し相手となる「話相手ボランティアの養成講座」を社会福祉協議会との共催で実施しました。

町民31人が参加した本講座は、8月19日から9月30日までの間に計6回実施。東洋大学の横山貴美子准教授を講師に迎え、高齢者の特性や対話の作法、またボランティアについて研修を重ねました。

参加者からは、「いろんな人と話をしながら、それを糧に人と寄り添って生きていく大切さを痛切に感じました」「私は、高齢者と話す機会が多いので大変勉強になりました。相手のプライドを傷つけずに会話を楽しんでいたい」「仲間と話し合いながら、肩の荷にならないよう参加してみようと思います」など、人と関わることの大切さや大変さを実感する声が聞かれました。今後、関係機関を通じて「話し相手の欲しい人」を募集し、

話相手ボランティア養成講座が終了

ココロを癒すお手伝いを：

さまざまな場面で話相手ボランティアとして活躍していただくれます。ご近所や知り合いの人で「この人は話し相手が必要なんじやないかな…」など、気に入っている人がいましたら、気軽に地域包括支援センターか社会福祉協議会までご相談ください。



全6回の講座を通じて高齢者の特性や対話の作法など、ボランティアについて学びました。

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

地域包括支援センター ☎ (56) 2225